

令和 3 年度

事業報告書

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

令和3年度事業報告

令和2年1月に国内で初めて感染者が報告された新型コロナウイルス感染症は、令和3年度も収束する兆しはなく、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置による外出自粛要請や飲食店への営業時間の短縮要請等、県民生活に大きな影響を及ぼした。

こうした中、当財団の令和3年度の事業の実施にあたっては、三密の回避やマスク着用、定期的な室内換気や消毒の徹底等の感染防止対策を十分に行うとともに、動画配信やオンラインによる事業展開も取り入れつつ、「県民の総合的な健康づくりのパートナー」を目指して、兵庫県や関係団体との連携の下、事業を推進した。

また、平成31年3月に策定した第3次経営計画は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収支計画と実績の乖離が大きくなったことから、令和4年3月に中間見直しを実施した。

さらに令和2年度に口座開設した『ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金～新型コロナウイルスと闘う人たち応援プロジェクト～』は、引き続き適切に資金管理を行った。

1 健康づくり実践活動の支援

個人の努力とあわせて社会全体で健康づくりを支援する「健康ひょうご21県民運動」を推進するため、参画団体、健康づくり推進員等との協働により、健康づくりの基盤となる「健康チェック」の実践、生活習慣の見直し等を通じた健康づくり運動を全県内で展開した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「健康ひょうご21県民運動ポータルサイト」等を活用した講演動画の公開により、健康づくりの実践につながる情報を多くの県民に向けて発信し、コロナ禍においても県民の健康づくりが実践されるよう働きかけた。

また、企業の従業員や家族及び幼稚園、保育所等の幼児と保護者等への啓発事業を展開し、県民総ぐるみの健康づくりを推進した。

2 疾病予防等の普及啓発

県民の健康づくりに関する有用な情報や、財団の事業内容を広く紹介するため、広報紙「プレベ」やホームページによる広報のほか、生活習慣病、結核、がん等の予防をはじめ、臓器移植や献血に関する正しい知識の普及と意識の向上及び実践を目的とした講演会・研修会のオンライン配信や、DVDの貸出し、ポスター掲示やWEB広告によるキャンペーン事業等の啓発活動を行うとともに、健康づくりや疾病

予防の各分野における功労者の表彰を行った。

また、がん等の医療に携わる専門職が行う研究の奨励を行い、医療技術の向上の支援に努めた。

3 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

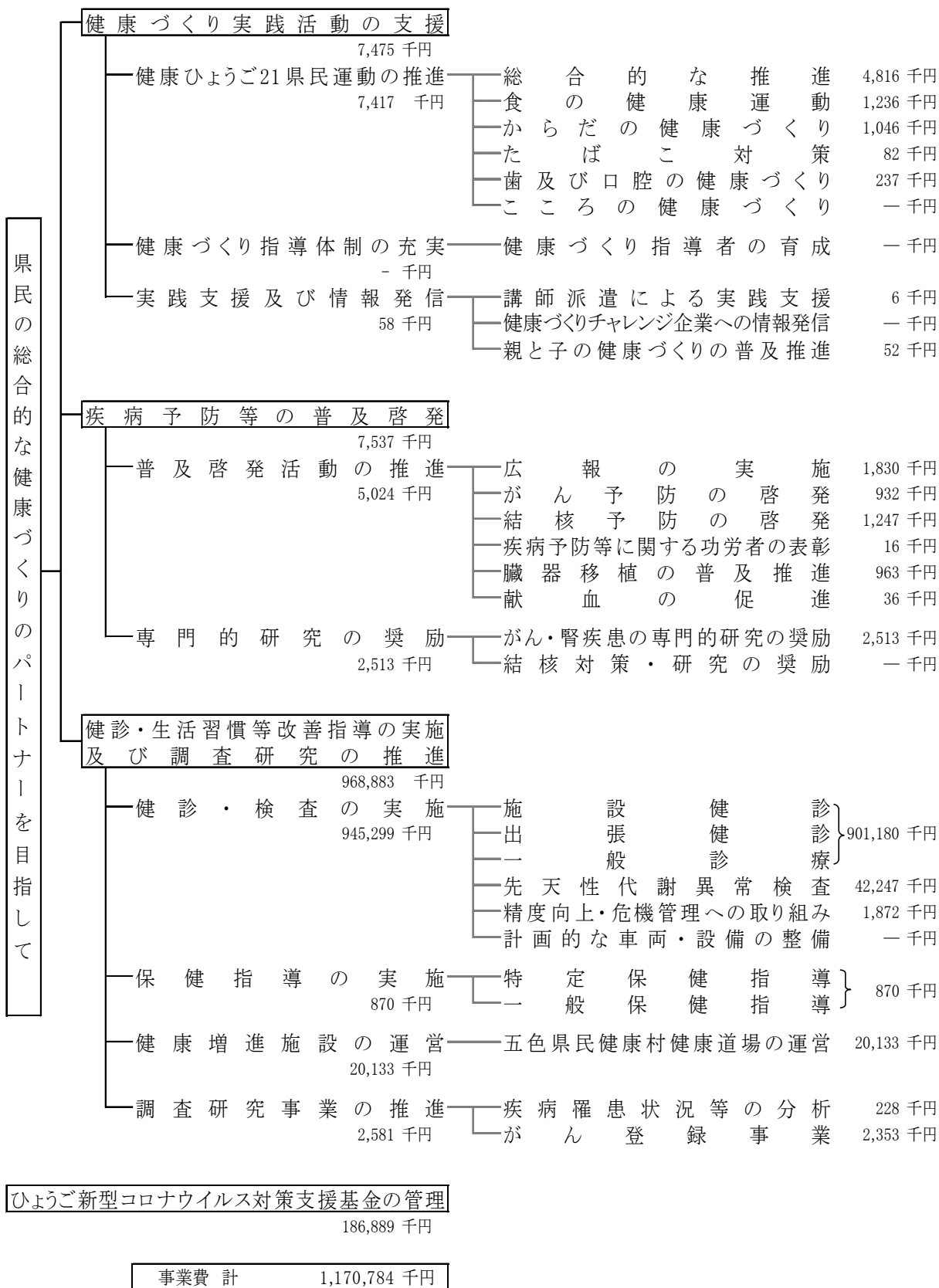
受診者の視点に立った「安全・安心でかつサービスの行き届いた健康診断」を提供するため、健診精度の維持・向上に努めつつ、感染防止対策を徹底しながら、県内全域の地域・職域・学校において幅広い年齢層を対象に健診事業・保健指導事業を実施するとともに、企業の従業員を対象としたストレスチェック及びその結果に基づく評価を実施し、事業所従業員のメンタルヘルス不調の未然防止等職場環境の改善に取り組んだ。

また、五色県民健康村健康道場では、前年度に引き続き 3 人部屋、5 人部屋をシングルユースとするなど、三密を回避したうえで、県民のこころと身体の健康づくりを支援する実践施設として事業を実施した。

さらに、公益財団法人として県内の公衆衛生の向上に寄与するため、健診や生活習慣改善指導事業等の実施状況及び精密検査受診者の追跡調査により得られたデータを集計し、「事業年報」として情報発信するとともに、県内のがん罹患情報を収集し、兵庫県のがん予防対策の基礎資料として活用を図った。

令和3年度事業体系

(人件費・減価償却費を除く)



I 健康づくり実践活動の支援

1 健康ひょうご 21 県民運動の推進

(1) 総合的な推進

① 健康ひょうご 21 県民運動推進会議総会等の開催（県補助事業）

重点活動目標や事業計画を決定するとともに、健康づくりの普及・実践を促進するため、総会及び全県の事業実施状況の共有と、次年度の目標等を検討するための各部会長及び各地域会議会長等による合同会議を書面により開催した。

総 会 : 令和 3 年 6 月

合同会議 : 令和 4 年 3 月

② 健康ひょうご 21 県民運動推進フォーラムの配信

県民運動ポータルサイトに特設ページを開設し、講演「ポストコロナを元気に生きる“賢食”術—県民運動 20 年の成果から—」及び健康ひょうご 21 県民運動に関する事業や活動状況を期間限定で公開した。

③ 健康ひょうご 21 県民運動地域会議総会等の開催（県補助事業）

地 域	開催日・場所	内容	参加人数
西播磨	7月 8日 (木) たつの市新宮ふれあい 福祉会館	・講演「軽度認知機能障害 MCI を理解して認知症を予防する」 西播磨会議会長 古橋 淳夫 氏 ・健康体操	106 人
但 馬	7月 15日 (木) 兵庫県立但馬文教府	・講演「生活習慣病予防で新型コロナの重症化を防ごう！食べる順番と食べる時刻とは？」 京都女子大学家政学部食物栄養学科教授 今井 佐恵子 氏 ・健康体操	66 人
計			172 人

※その他の地域は書面により開催。

④ 健康づくり推進員の設置・養成（県補助事業）

ア 健康づくり推進員の設置・養成

健康づくりの担い手を養成するため、県民運動参画団体から推薦を受けた人を対象に「健康づくり推進員支援ガイド」を活用しての書面による研修等を実施し、その修了者に健康づくり推進員を委嘱した。

区 分	人数(R4.4.1 現在)	うち新任者数
県民運動推進員・8020 運動推進員	1,691 人	154 人
食の健康運動リーダー	857 人	39 人

イ 健康づくり推進員フォローアップ研修会等の開催

健康づくり推進員の資質向上を図るとともに、活動に関する意見交換や推進員相互の交流を促進するため、フォローアップ研修会等を開催した。

【全県】

開催日・場所	内 容	参加人数
10月21日(木) 11:00~13:30 神戸ポートピアホテル	「Dr.家森と楽しむ世界の健康長寿食」ランチセミナー ・講話「シルクロードの光と影ー長寿と短命の分かれ道ー」 健康ひょうご21県民運動推進会議会長 家森 幸男 氏 ・ランチタイム「ラム肉やドライフルーツを使ったシルクロード の長寿食を楽しもう」 神戸ポートピアホテル総料理長 岸本 貴彦 氏	46人
3月1日~ オンライン配信 (令和4年7月10 日までの予定)	がん・生活習慣病講演会 ・講演Ⅰ「がん患者さんとご家族のこころのケアについて」 (埼玉医科大学 教授/埼玉医科大学国際医療センター精神腫 瘍科 診療部長) 大西 秀樹 氏 ・講演Ⅱ「がん・生活習慣病で命を落とさないため~健診と検診 は転ばぬ先の杖~」木島 貴志 氏 (兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学 主任教授/兵庫医科大 学病院副院長、がんセンター長、呼吸器内科 診療部長)	視聴者数 講演Ⅰ 212回 講演Ⅱ 186回 ※ 5/16 現在

【各地域】

地 域	開催日・場所	内 容	参加人数
阪神南	11月4日(木) 尼崎商工会議所	・講演「こころの健康について-ストレスとその対処法-」 兵庫県精神保健福祉センター所長 酒井 ルミ 氏 ・情報提供「結核とCOPDについて」	64人
阪神北	10月25日(月) 阪神北県民局	・講演「高齢者の低栄養・フレイル予防-食事摂取基準 2020年版で考える-」 武庫川女子大学栄養科学研究 谷野 永和 氏	43人
東播磨	10月21日(木) 加古川総合庁舎5階	・講演「人はなぜお酒を飲むのか??~知って得する、お 酒のはなし~」 公益財団法人復光会垂水病院精神保健福祉士 上田 知香 氏	50人
北播磨	11月10日(水) 兵庫県社総合庁舎	・講演「With コロナ時代の口から始まる健康長寿」 ヨーガ療法士・表情筋トレーナー 前川 千賀子 氏 ・講話「新型コロナウイルス感染症~第4波、第5波を 経て~」 加東健康福祉事務所 逢坂 悟郎 所長	45人
中播磨	10月7日(木) 市川町文化センター コミュニティーホール	・講演「感染症対策でより明確になった身体活動の取り 組み」 健康運動指導士 亀澤 徹郎 氏 ・情報提供「たばことCOPD」	61人
西播磨	11月29日(月) たつの市新宮ふれあ い福祉会館	・講演「食べて元気にフレイル予防~毎日の食事を楽し んで健康寿命を延ばそう!~」 赤穂健康福祉事務所管理栄養士 藤田 志保 氏 ・講話「オーラルフレイルを予防しよう~お口の元気は からだの元気のもと~」 兵庫県健康増進課歯科衛生士 秋山 安祐美 氏	80人

但馬	10月20日(水) 兵庫県立但馬文教府	・講演「コロナ禍におけるフレイルと認知症」 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻老年看護学 教授 竹屋 泰 氏	55人
丹波	11月19日(金) 丹波の森公苑	・講演「こころの健康について-ストレスとその対処法-」 兵庫県精神保健福祉センター所長 酒井 ルミ 氏 ・講話「目指せ！お口の元気アップ」 兵庫県健康増進課歯科衛生士 小前 みどり 氏	56人
淡路	10月8日(金) 兵庫県洲本総合庁舎	・講演「認知症の新常識!!」 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻老年看護学 教授 竹屋 泰 氏 ・講話「お口の筋力アップ！防ごうオーラルフレイル」 兵庫県健康福祉部歯科衛生士 畑 沙耶香 氏	99人
	9か所		553人

※全地域で健康体操を実施

ウ 健康づくり推進員による実践活動

健康づくりの普及や実践活動を展開したほか、幼児の保護者等に対する調理実習など、食の健康運動の推進活動を行った。

区 分	取組件数	延参加人数
県民運動推進員・8020運動推進員	7,908件	60,902人
食の健康運動リーダー	1,649件	34,772人

エ 健康づくり推進員の活動支援

県民運動の概要、取組事例、健康情報の紹介とともに、日頃の健康チェック及び健康づくり活動の記録ができる「健康づくり推進員活動支援ガイド」やポータルサイトを活用し、推進員の活動支援と活性化を図った。

⑤ 参画団体の活動支援

ア 健康マイプラン実践講座（県補助事業）

県民運動参画団体等が実施する健康づくりの講演会や研修会等に登録講師を派遣し、参画団体等における健康づくりの実践を支援した。

派遣回数	参加人数
34回	1,877人

※ (6)こころの健康づくりの推進に係る実践講座を含む。

イ 地域実践活動への助成

県民運動参画団体等が行う有意義な健康づくり実践活動に助成し、地域における県民の健康づくりの実践活動を支援した。

地 域	神戸	阪神南	阪神北	中播磨	但馬	丹波	計
件 数	3	4	3	3	1	4	18
助成額(千円)	133	117	150	150	40	169	759

⑥ 健康づくり情報の発信

コロナ禍の健康づくりを支援するため、健康ひょうご 21 県民運動ポータルサイトで、「健康づくり実践シリーズ（運動・食生活）」やコロナ禍での健康づくり情報を含め、最新の健康づくりに関する情報を発信した。

また、参画団体や健康づくり推進員の実践活動、健康づくりに関する情報等を財団広報誌「プレベ」に掲載したほか、9 地域会議の活動等の情報を支部だよりで発信した。

(2) 食の健康運動の推進

① 食の健康運動リーダーの設置

食の健康運動リーダーを活用し、各地域において食の健康運動を推進した。

② 食生活改善事業の実施

コロナ禍の新しい生活様式に応じた「ちょっとひと手間でヘルシースピードランチ」リーフレット 5 種を作成し、情報発信を行った。

③ 食育コンサートの開催

幼稚園・保育所等の幼児や保護者等を対象に、「大豆のうた」や踊り、クイズ等を通じて、規則正しくバランスのとれた食生活の大切さ、栄養豊富な野菜や大豆摂取の重要性などを啓発した。

加えて、歯みがき指導による、幼児、保護者、保育関係者への歯及び口腔の健康づくりの普及・啓発を行った。

担当支部	開催日	実施団体	参加（人）		
			幼児等	保護者等	合計
神戸	11月5日（金）	神戸市立あづま幼稚園	70	7	77
阪神北	11月9日（火）	宝塚さくら保育園	200	35	235
阪神北	11月25日（木）	伊丹市立せつよう幼稚園	42	4	46
東播磨	11月10日（水）	加古保育園	34	4	38
北播磨	10月8日（金）	高岡育児園	59	9	68
中播磨	10月19日（火）	姫路市立御国野幼稚園	58	8	66
但馬	10月26日（火）	日高町保育園・認定こども園連絡協議会	119	20	139
丹波	10月15日（金）	認定こども園あいいくの丘	60	10	70
淡路	10月22日（金）	五色すこやか子育てセンター	55	43	98
計		9回	697	140	837

(3) からだの健康づくりの推進（県補助事業）

メタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの予防を目指し、運動の実践と習慣化を促進するための学習会を開催し、今より 10 分多く毎日からだを動かす+10分（プラス・テン）、「“脱” 座りすぎ生活」の啓発等を図り、か

らだの健康づくりを推進した。

学習会開催回数	参加人数
14回	928人

(4) たばこ対策の推進

「受動喫煙の防止等に関する条例」の趣旨を踏まえ、広報資材の配付、研修会等を通じて、たばこによる健康への悪影響、COPDなどの啓発、妊産婦や未成年の喫煙防止等を推進した。

研修会開催回数	参加人数
17回	1,590人

(5) 歯及び口腔の健康づくりの推進（県委託事業）

8020運動推進員による啓発活動をはじめ、各種講演会や啓発資材の配付等を通じて、乳幼児期・学齢期・成人期・高齢期のう蝕予防や歯周病予防、歯の喪失防止に向けた8020運動を推進した。

また、8020運動推進員の資質向上を図るための研修会を開催し、併せて口腔がんに関する情報提供や口腔の筋機能の低下を予防する体操等を実施した。

研修会開催回数	参加人数
7回	552人

(6) こころの健康づくりの推進

健康づくり推進員フォローアップ研修会の開催や健康マイプラン実践講座の実施等により、コロナストレスやこころの不調の予防と対処、笑いや認知症予防、適切な睡眠などのこころの健康づくりを推進した。

実践講座等実施回数	参加人数
8回	522人

2 実践支援及び情報発信

(1) 講師派遣による実践支援

市町、地域団体、事業所等が実施する健康づくり教室、イベント等に、当財団の専門スタッフ(健康運動指導士、管理栄養士、保健師等)を講師として派遣し、講演や実技指導を実施した。

派遣回数	指導延人数
9回	778人

(2) 健康づくりチャレンジ企業への情報発信

兵庫県と締結した「健康づくり応援協定」に基づき、積極的に従業員や家族の健康づくりに取り組む「健康づくりチャレンジ企業」に対し、メールマガジンの定期発行や財団ホームページでの健康情報の提供を行った。

- ・メールマガジンの発行 6回

(3) 親と子の健康づくりの普及推進（母子衛生研究会委託事業）

妊娠、出産、育児等に関する知識と実践の普及を図るため、初めて子どもを持つ夫婦を対象に、西宮市との共催により育児セミナーを開催した。

開催日	場 所	参加人数
12月18日(土)	なるお文化ホール	73名

II 疾病予防等の普及啓発

1 普及啓発活動の推進

(1) 広報の実施

① 広報誌「プレベ」の発行

健康づくりに関する情報等の発信や財団事業を効果的に広報するため、広報誌「プレベ」を作成し、関係機関を通じ広く県民に配布した。

- ・発行時期 9月・3月（計2回）
- ・発行部数 21,000部
- ・配布先 行政機関、健診顧客、健康ひょうご21県民運動参画団体及び県民運動推進員、関連イベント参加者、神戸市営地下鉄各駅等

② 団体の会報、広報紙等への情報提供

医療保険者等が発行する会報や広報誌に、健康に関する情報を定期的に掲載することにより、県民の健康づくりを支援した。

- ・4団体 延べ16回掲載

③ ホームページによる情報発信

スマートフォンにも対応したホームページにより、人間ドックメニューの紹介や講演会等のイベント開催、健康コラムの掲載等、財団の事業内容や健康づくりに役立つ情報を発信した。

(2) がん予防の啓発

① がん征圧月間行事の実施

がん征圧月間（9月）の期間中、がん予防等について広く県民に意識啓発を行った。

- ア ポスターによる普及啓発

日本対がん協会が作成した「がん征圧月間ポスター」を行政機関、医療関係団体等に配布した。

イ 懸垂幕の掲示

兵庫県庁と財団荒田事務所に懸垂幕を掲示し、征圧月間の周知を図った。

ウ がんセミナーの開催

がんについての正しい知識の普及、早期発見及び早期治療の認識を高めるため、YouTubeにより動画を配信した。

・配信内容

演 題 「消化器がんと栄養について～コロナ時代のがん対策～」

講 師 大阪大学医学部附属病院 病院長 土岐祐一郎 氏

・配信期間 令和3年10月29日～11月30日

・視聴数 202件

② がん・生活習慣病講演会の開催

生活習慣病予防に関する理解を深めるとともに、健康づくりの意識を高めるため、YouTubeによる動画配信により「健康づくり推進員フォローアップ研修会」と兼ねて実施した。

③ がん征圧寄附金募集活動等による啓発の実施

がん予防のための普及・啓発活動や、若手研究者へのがん研究助成の原資とするための寄附金を募るとともに、同活動を通じてがん検診の受診勧奨などの啓発活動を展開した。

件数	金額
255件	1,621,500円

④ がん検診啓発及びがん患者支援の実施

ア 乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボンフェスティバル」に参画した。

イ がん患者支援・がん検診啓発チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」に協賛し、その活動を支援した。

(3) 結核予防の啓発

① 結核予防週間行事の実施

結核予防週間(9月24日～30日)の期間中、結核予防について広く県民に意識啓発を行った。

ア ポスター等による普及啓発

結核予防会が作成したポスターやパンフレット等を婦人会、医療機関、地方公共団体等に配布した。

媒体	内容	配布部数
ポスター	結核予防週間	700部
パンフレット	結核の常識 2021	13,000部
結核予防会機関誌「複十字」(年6回)		1,860部

イ 懸垂幕の掲示等

兵庫県庁と財団荒田事務所に懸垂幕を掲示し、予防週間の周知を図った。
また、WEB バナー広告に加え、財団ホームページ、健康ひょうご 21 県民運動ポータルサイトを活用した啓発を行った。

ウ 結核セミナーの開催

結核についての正しい知識の普及を図るため、YouTube による動画配信により実施した。

- ・ 配信内容 「結核の常識 2021」から学ぶ 結核という病気
- ・ 配信期間 令和3年10月29日～11月30日
- ・ 視聴数 128件

② 複十字シール運動募金活動等による普及啓発

結核の制圧及びその他胸部疾患の予防を目的とした募金活動を通じ、結核等に理解を深める啓発活動を、関係団体の支援を得て実施した。

件数	金額
288件	1,157,000円

③ 出版物の斡旋

結核に関する正しい知識の普及を図るため、結核予防会発行の各種専門図書を保健所、病院、個人等に広く斡旋した。

- ・ 斡旋数 7種類 371冊

(4) 疾病予防等に関する功労者の表彰

多年にわたり、公衆衛生の向上に資する事業の推進に貢献し、その功績が顕著な個人、団体を表彰した。

① がん予防功労者

氏名	職種	推薦団体
馬嶋 素子	医師	丹波健康福祉事務所
森口 孝一	医師	西宮市医師会
山本 剛	臨床検査技師	兵庫県臨床検査技師会

② 結核予防功労者

氏名	職種	推薦団体
大賀 成敏	医師	明石市医師会
河野 富雄	医師	高砂市医師会
高田 彰彦	医師	神戸市須磨区医師会

〔団体〕

団体名	推薦団体
神戸市婦人団体協議会	神戸市健康局保健所

③ 健康づくり功労者

〔個人〕

氏名	職種	推薦団体
大塚 陽子	歯科衛生士	健康ひょうご 21 県民運動但馬会議
大林 良和	医師	神戸市灘区医師会
小寺 博行	医師	西宮市医師会
小山六良兵衛	一般	豊岡市老人クラブ連合会
関 眞紀子	歯科衛生士	兵庫県歯科衛生士会
高谷みゆき	管理栄養士	兵庫県栄養士会
吉川 涼一	歯科医師	兵庫県歯科医師会

〔団体〕

団体名	推薦団体
肝炎友の会 兵庫支部	兵庫県難病団体連絡協議会
サロン いきいき 100歳	宝塚市民生委員・児童委員連合会

④ 母子保健功労者

氏名	職種	推薦団体
高田 郁也	医師	神戸市長田区医師会
矢野 聡	医師	加古川医師会
山田 浩	医師	西宮市医師会
和田 正文	医師	神戸市須磨区医師会
廣川 卷子	助産師	兵庫県助産師会

(5) 臓器移植の推進

① 臓器移植の普及（県補助事業）

臓器提供意思表示の普及を促すため、啓発資材を作成・配布した。

② いのちの勉強会の開催（県補助事業）

臓器移植医療に関する正しい知識の普及・啓発と、臓器移植の一層の定着・

推進を図るため、講演を収録・DVD化し看護系学校（4校）へ貸出した。

テーマ「LIVING WILL」～臓器提供を考える～

- ・臓器移植ミニ講座
- ・講演「生と死について考える：一救命救急医からのメッセージ」
兵庫県災害医療センター センター長 中山 伸一 氏
- ・講演「腎臓移植を経験して」 臓器移植を受けられた患者様

③ 臓器移植希望者への支援(県補助事業)

臓器移植希望者の経済的負担を軽減するため、希望者の組織適合検査に要した経費の一部を助成した。

- ・組織適合検査助成 43件 430,000円

④ 骨髄移植の普及推進

骨髄移植の普及を図るため、骨髄ドナー登録啓発資材（ウエットティッシュ：800個）をドナー登録会等で活用した。

(6) 献血の推進

献血の推進を図るため、啓発資材（ウエットティッシュ：800個）を献血会場等で活用した。（「骨髄移植の普及推進」と兼ねて実施）

2 専門的研究の奨励

(1) がん・腎疾患の専門的研究の奨励

がん及び腎疾患の予防と診断・治療に役立つ専門的研究の進展に寄与するため、研究奨励賞を贈呈した。

① がん研究奨励賞（総額 250万円）

氏名	所属	研究題目
井上翔太郎	県立こども病院	単球の不均一性に着目した神経芽腫の病態解明
佐野 圭佑	宝塚市立病院	適応放射線治療（ART）アプリケーションの評価ならびに最適化
長嶋 宏明	神戸大学大学院医学研究科	IDH 変異グリオーマの予後不良サブタイプの病態解明と新規治療法の開発
物延 沙耶	県立尼崎総合医療センター	小児がんに対するリキッドバイオプシーの開発
渡部 正雄	神戸市立医療センター中央市民病院	テスクチャー解析の標準化手法の確立による悪性腫瘍への再現性の高い予後予測の実現

② 腎研究奨励賞

応募なし

(2) 結核の専門的研究の奨励

応募なし

Ⅲ 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

1 健診・検査の実施

(1) 施設健診

特定健康診査やがん検診をはじめ、学校保健安全法、労働安全衛生法等に基づく健康診断のほか、口腔健診を組み込んだ人間ドックコースの充実を図るなど、多様化する受診者ニーズに応じた人間ドックを実施し、県民の生活習慣病の予防及び早期発見を支援した。

(実施団体数 1,850 団体)

健診種別		令和3年度 (件)	令和2年度 (件)	対前年度比 (%)	
集団検診	学校健診	708	857	82.6	
	住民健診	629	534	117.8	
	事業所健診	一般健康診断(就学・就職)	519	527	98.5
		定期健康診断等	15,298	14,040	109.0
	小計	17,154	15,958	107.5	
人間ドック	1泊2日人間ドック	92	86	107.0	
	半日人間ドック	5,084	5,642	90.1	
	兵庫県2時間人間ドック	286	296	96.6	
	脳ドック [再掲]	(223)	(240)	92.9	
	PET検診 [再掲]	(11)	(12)	91.7	
	胃内視鏡検査 [再掲]	(3,102)	(2,902)	106.9	
	乳腺超音波検査 [再掲]	(2,848)	(2,648)	107.6	
	口腔健診 [再掲]	(68)	(92)	73.9	
	レディースドック [再掲]	(480)	(713)	67.3	
	全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診	8,220	8,082	101.7	
一般健診	(7,891)	(7,755)	101.8		
一般健診+付加健診	(329)	(327)	100.6		
小計	13,682	14,106	97.0		
ストレスチェック	1,475	1,245	118.5		
合計	32,311	31,309	103.2		

注1)脳ドック、PET検診、胃内視鏡検査、乳腺超音波検査、口腔健診は、人間ドックの各コースの付加につき再掲

注2)レディースドックは、女性専用日を利用した受診者で再掲

(2) 出張健診

市町や地元商工会議所・商工会との連携等により、事業所従業員や被扶養者をはじめ幅広い層を対象とした健診受診機会を提供するとともに、検査項目の追加などにより、質の高い健診を積極的に推進したほか、労働安全衛生法に基づくストレスチェックを健診時にあわせて実施した。

なお、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置により、健診の一部が延期を余儀なくされたが、代替日を確保して、実施に努めた。

① 学校健診（実施校数 47校、2教育委員会）

健診種別	令和3年度(件)	令和2年度(件)	対前年度比(%)
結核検診	22,559	23,525	95.9
心臓検診	5,837	6,072	96.1
腎臓検診	15,619	17,034	91.7
診察・身体計測等	14,636	16,714	87.6
合計	58,651	63,345	92.6

② 住民健診（実施市町数 19市町）

健診種別	令和3年度(件)	令和2年度(件)	対前年度比(%)	
結核検診	61,158	57,768	105.9	
特定健康診査 (生活習慣病健診等を含む)	17,943	14,983	119.8	
心電図検査	(7,023)	(6,992)	100.4	
眼底検査	(5,822)	(5,767)	101.0	
貧血検査	(13,083)	(11,505)	113.7	
胃がん検診	22,032	20,218	109.0	
肺がん検診	57,427	53,477	107.4	
大腸がん検診	18,636	16,702	111.6	
子宮頸がん検診	12,883	11,470	112.3	
乳がん検診	視触診	1,156	1,145	101.0
	マンモグラフィ	9,152	8,630	106.0
前立腺がん検診	6,771	5,750	117.8	
骨粗鬆症検診	2,179	2,369	92.0	
肝炎検査	1,541	1,513	101.9	
腹部超音波検査	8,171	3,990	204.8	
合計	219,049	198,015	110.6	

③ 事業所健診（実施団体数 2,014 団体）

健診種別		令和3年度(件)	令和2年度(件)	対前年度比(%)
定期健康診断		106,269	104,268	101.9
特定健康診査		1,550	1,479	104.8
全国健康保険協会管掌 健康保険生活習慣病予防健診		29,162	28,619	101.9
ストレスチェック		46,203	46,426	99.5
特殊健康診断		18,457	16,849	109.5
がん・追加検診等	胃がん検診	31,565	31,575	100.0
	肺がん検診	18,871	18,591	101.5
	大腸がん検診	60,703	59,799	101.5
	子宮頸がん検診	1,137	1,819	62.5
	乳がん検診(マンモグラフィ)	590	1,430	41.3
	腹部超音波検査	12,163	11,480	105.9
合計		326,670	322,335	101.3

(3) 一般診療

診療科目	令和3年度(件)	令和2年度(件)	対前年度比(%)
内科・外科・放射線科	669	622	107.6

(4) 先天性代謝異常検査（県委託事業）

検査種別	令和3年度(件)	令和2年度(件)	対前年度比(%)
代謝異常検査	25,583	26,155	97.8
TSH(クレチン症)検査	25,207	25,658	98.2

(5) 精度向上・危機管理への取り組み

① 健診精度の向上

ア 人材の育成・職員研修の実施

財団職員の資質の向上並びに正確な検査の実施と的確な判断能力の維持・向上を図るため、職員に対する研修会を実施した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イーラーニング又は書面により実施）

研修会名	回数	延参加人数
職員（全体）研修会・職種別分科会（イーラーニング）	1回	321人
医師研修会（書面開催）	1回	59人

イ 精度管理委員会の開催

胸部、胃部、マンモグラフィ検診の読影精度及び心電図の記録・判定技術の向上を図るため、財団で読影・判定業務に従事する医師を対象に専門委員会を開催し、検診実施状況報告及び画像症例検討等を行った。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各委員と個別または書面により実施）

開催日	内 容	参加人数
12月6日（月） ～12月24日（金）	マンモグラフィ専門委員会（個別）	11人
3月7日（月） ～3月25日（金）	胃部エックス線画像専門委員会（個別）	10人
3月7日（月） ～3月25日（金）	胸部エックス線画像専門委員会（個別）	13人
3月2日（水）	生理機能検査（心電図）専門委員会（書面）	7人
合 計		41人

ウ 外部精度管理評価の維持

県民に信頼される健診機関であるために、全国労働衛生団体連合会、日本医師会、結核予防会等による外部精度管理調査を定期的に受審し、精度の維持・向上を図るとともに、第三者機関による認定の維持に努めた。

【第三者機関による認定】

- ・人間ドック健診施設機能評価認定（日本人間ドック学会）
- ・労働衛生サービス機能評価認定
（全国労働衛生団体連合会労働衛生サービス機能評価委員会）
- ・日本消化器がん検診学会指導施設認定（日本消化器がん検診学会）
- ・マンモグラフィ検診施設画像認定（日本乳がん検診精度管理中央機構）
- ・日本臨床細胞学会施設認定（日本臨床細胞学会）
- ・人間ドック健診専門医研修施設認定（日本人間ドック学会）
- ・人間ドック健診施設保健指導実施施設認定（日本人間ドック学会）

② 危機管理体制の運用

受診者が安心して安全で良質な健診を受けられる環境を整えるため、リスクマネジメント推進会議等において、健診等に関する事故やヒヤリ・ハット事例を分析し、事故の未然防止・再発防止策を検討した。

名 称	構成員	内 容	開催回数
リスクマネジメント推進会議	課長等	・事故内容の分析 ・事故防止対策の検討・提案等	12回
リスクマネジメント実践担当者会議	担当職員	・事故防止対策の実行、教育の実施	12回

③ 情報処理体制の強化

健診等情報処理システムの適正な管理を行うことにより、効率的な事務処理に努めるとともに、迅速・正確かつ品質の高いサービスの提供に努めた。

④ プライバシーマーク認定の維持

セキュリティレベルの向上を図りつつ、個人情報の漏洩防止に組織的に取り組むことにより、個人情報保護に係る認定制度「プライバシーマーク」（一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC））認定の維持に努めた。

（令和4年3月に9度目の更新認定）

(6) 計画的な車両・設備の整備

耐用年数等を考慮し策定した更新計画に基づく検診車及び医療機器等の更新整備により、健診精度の維持・向上を図った。

【主な整備内容】

- ・胸部エックス線検診車・・・・・・・・・・・・・・・・ 1台
- ・循環器検診車・・・・・・・・・・・・・・・・ 1台
- ・外部系仮想化システム基盤・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・上部消化管汎用ビデオスコープ・・・・・・・・ 1台
- ・眼底カメラ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1台
- ・心電計・・・・・・・・・・・・・・・・ 3台

2 保健指導の実施

(1) 特定保健指導

特定健診の結果に基づき、生活習慣を改善し健康の保持に努める必要があるとされた者に対し、生活習慣改善のための行動目標、行動計画を設定し、健康に関するセルフケアができるよう継続的に支援する特定保健指導を、健診当日やオンラインによる遠隔面接の対象を拡大し実施した。

・支援別実施実人数

	令和3年度	令和2年度	対前年度比
動機付け支援	499人	243人	205.3%
積極的支援	540人	290人	186.2%
合計	1,039人	533人	194.9%

※当該年度中に指導を開始した実人数を記載

(2) 一般保健指導

人間ドックの受診者に対し、生活習慣改善の必要性などについて保健指導を実施するとともに、精密検査対象者への受診勧奨等きめ細かなアドバイスを行った。

また、健診当日に健康相談を希望する者に食事・運動などの生活習慣全般について実践的な指導を行うとともに、健診結果に基づき、運動や食生活指導を希望する者に対して、健診事後指導や個別健康相談を行った。

	令和3年度	令和2年度	対前年度比
施設内事後指導	1,383人	1,195人	115.7%
出張型事後指導	24人	4人	600%

3 健康増進施設の運営

(1) 五色県民健康村健康道場の運営

① 絶食・低カロリー食療法コース（入所）

3泊4日から、7日間、11日間、16日間、20日間コースなど、入所者の希望に応じた日数設定を行い、個々のニーズや健康状態に合わせたサービスを提供した。

	令和3年度	令和2年度	対前年度比
利用者数	505人	527人	95.8%
延宿泊者数	2,998人	3,124人	96.0%
平均宿泊日数	5.9日	5.9日	一日

② 利用促進施策の実施

ホームページの活用やメール、ツイッター及びフェイスブック等による広報を行ったほか、インターネット健康大学の開講やリピーター割引クーポン券の発行、年末・年始営業の実施により、利用者の確保に努めた。

なお、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止措置として3人部屋、5人部屋をシングルユースとして使用した。

ア インターネット健康大学

インターネットによる講義を開講し、「心身医学」を学ぶ機会を提供した。

イ リピーター割引クーポン券の発行

次回利用時に30%割引となるクーポン券を1人につき2枚発行した。

- ・発行枚数 1,010枚
- ・利用枚数 299枚

ウ 年末・年始営業

- ・営業日 12月29日～翌年1月3日
- ・期間中の利用者数

区分	令和3年度	令和2年度	前年度比
入所者数	23人	24人	95.8%
延宿泊者数	138人	149人	92.6%

※延宿泊者数は、上記期間の入所者が前後の期間に宿泊した日数を含む。

4 調査研究事業の推進

(1) 疾病罹患状況等の分析

健診事業及び精密検査実施状況の追跡調査により得られたデータを集計し、がん検診等の実施状況、発見がんの状況等を事業年報により発信した。

- ・発行部数 500 部
- ・配布先 行政機関、医療関係団体他

(2) がん登録事業（県委託事業）

① がん罹患情報等の審査・整理・登録

県内医療機関等から提出されるがん罹患情報等の審査・整理・登録を行い、兵庫県のがん対策の企画立案及び評価の基礎資料として活用を図った。2016年（平成28年）診断症例からは、全国がん登録として実施している。

【全国がん登録】

- ・届出件数 65,166 件
- ・届出医療機関数 190 機関
- ・遡り調査登録件数 1,225 件
- ・住所異動確認調査登録件数 597 件

② 全国がん登録実務者研修会の開催

県内の病院及び指定診療所において全国がん登録業務に従事する者を対象として全国がん登録業務の円滑な推進を目的に「全国がん登録実務者研修会」をオンラインにより開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
12月20日(月) ～1月20日(木) オンライン配信	「令和3年度 全国がん登録実務者研修会」 ・講演「全国がん登録の実務～活用できるがん統計作成のために～」 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 国際政策研究部長 松田 智大 氏	視聴者数 371 回

③ がん罹患報告書の作成

全国がん登録の報告書「兵庫県のがん2018（平成30年）」を作成し、2018年のがん罹患及び死亡の状況等について発信した。

- ・発行部数 600 部

IV ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金の管理

6 金融機関に開設したひょうご新型コロナウイルス対策支援基金の口座を適切に管理し、兵庫県が開催した配分委員会の決定に基づき医療機関に配分した。

寄附金の受入・配分状況

・ 令和3年度期首残高	129,099,701 円	
・ 寄附件数・総額 523 件	111,327,497 円	
・ 配分先・金額 (669 医療機関)	186,400,000 円	(令和4年1月配分)
	(振込手数料 488,620 円)	
・ 基金残額	53,538,578 円	